# 製品安全データシート

## 1、製品及び会社情報

製品名 モノタロウ 残留塩素測定器用粉体試薬

会社名 株式会社MonotaRO

所在地 〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階

担当者名商品お問合せ窓口電話番号0120-443-509FAX番号0120-289-888緊急連絡先所在地と同じ整理番号M200313

#### 2、危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

金属腐食性物質 : 分類できない。

自己反応性化学品 : 分類対象外

可燃性固体 : 区分外

自然発火性固体 : 区分外

自己発熱性化学品 : 分類できない。

水反応可燃性化学品 : 分類対象外

酸化性固体 : 分類できない。

その他の項目 : 分類対象外

健康に対する有害性

急性毒性(経口) : 区分外

急性毒性(経皮) : 分類できない。

急性毒性(吸入・ガス) : 分類対象外

皮膚腐食性/刺激性 : 分類できない。

眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 : 区分2A

生殖毒性 : 分類できない。

呼吸器感作性 : 分類できない。

皮膚感作性 : 分類できない。

吸引性呼吸器有害性 : 分類できない。

その他の項目: 分類できない。

環境に対する有害性

水生毒性(急性及び慢性) : 分類できない。

その他の項目: 分類できない。

絵表示またはシンボル

(GHSラベル要素)



注意喚起語 : 警告

強い眼刺激

(予防策) : 作業の際は保護眼鏡・保護手袋等の適切の保護具を

着用する。

: 取扱い後は、手を良く洗う。

: 衣類に付着した場合は、着替える。

(応急処置) : 眼に入った場合は、直ちに多量の水道水で15分間

以上 瞼の隅々まで洗眼する。 処置後 速やかに

医師の手当てを受ける。

(保管) : 製品の品質保持の為、直射日光及び湿気を避け、涼し

い場所に保管する。試薬の包装の開封後は、速やかに

使用する。

(廃棄) : 大量の水で希釈して廃棄する。

#### 3、組成·成分情報

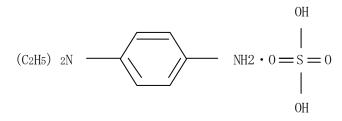
単一製品・混合物の区分 : 混合物

化学名又は一般名 : DPD試薬 (遊離残留塩素濃度測定試薬)

組成情報

| 成分名             | CAS No     | 構造式又は化学式                    | 化審法          | 安衛法        |
|-----------------|------------|-----------------------------|--------------|------------|
| N, Nーシ゛エチルーpーフェ | 6283-63-2  | 表末尾に記載                      | 3-243, 1-430 | 公表 (化審法の   |
| ニレンジアミン硫酸塩      |            |                             |              | 番号に準用・適用)  |
| 硫酸ナトリウム         | 7757-82-6  |                             | 1-501        | 公表 (化審法の   |
|                 |            |                             |              | 番号に準用・適用)  |
| 第2燐酸ナトリウ        | 7558-79-4  | Na2HPO4                     | 1-497        | 公表 (化審法の   |
| ム (無水)          |            |                             |              | 番号に準用・適用)  |
| リン酸二水素          | 7778-77-0  | KH2P04                      | 1-452        | 公表 (化審法の   |
| カリウム            |            |                             |              | 番号に準用・適用)  |
| トランスー1,2ーシクロヘキ  | 13291-61-7 | C6H4 • (N(CH2COOH)2)2 • H2O | 適用外          | 官報公示整理     |
| サンジアミン四酢酸       |            |                             | (試薬)         | 番号3-(4)-59 |
| 水和物             |            |                             |              |            |
| その他             | 記載せず。      |                             | 登録済み         | 登録済み       |

#### 注) N, N-ジエチル-p-フェニレンジアミン硫酸塩の化学式 (CAS No:6283-63-2)



#### 4、応急措置

飲み込んだ場合: 口の中を水で良く洗い、速やかに医師の手当てを受ける。

吸入した場合: 新鮮な空気の場所に移し、安静にする。

皮膚に付着した場合: 触れた(付着)部位を多量の水で良く洗う。炎症や違

和感を感じた場合は、速やかに医師の手当てを受ける。

眼に入った場合: 直ちに多量の水道水で15分間以上 瞼の隅々まで洗眼

する。 処置後 速やかに医師(眼科医)の手当てを受

ける。

5、火災時の処置

消火方法 : 不燃性であるが、加熱により毒性・有害性ガスが発生す

ることがあるので、適正な保護具を着用し、安全な場所

に移動する。

消火剤 : 周辺火災に適した消火剤。

## 6、漏出時の措置

少量包装品であり、一度に多量のものが飛散することはない。 掃き集めて空容器に回収し、破袋品があれば、そのあとは多

量の水で洗い流す。

7、取扱い及び保管上の注意

取扱い: 作業の際は、適切の保護具を着用する。

取扱い後は、手を良く洗う。衣類に付着した場合は着替える。(産業衛生学会勧告(2009年度)の第3種粉塵(許容濃度:吸入性粉塵2mg/m³、総粉塵8mg/m³)として扱う。

安全な容器包装材料: 1包装タイプの形状ですので、さらに湿気を防ぐために

密栓できる容器が望ましい。

保 管 : 製品の品質保持のため、高温・直射日光及び湿気を避け

#### た涼しい場所に保管する。

#### 8、暴露防止及び保護措置

許容濃度 : 『第2燐酸ナトリウム (無水)』のデータ

その他の無機及び有機粉塵として、吸入性粉塵 2 mg/m³・

総粉塵 8 mg/m³ (産業衛生学会 2009 年度) 厚生労働省 管理濃度 ・設定されていない。

ACGIH TLVs(TWA)(2009年度) ・設定されていない。

設備対策 : 特になし。

保護具: 眼・・ゴーグル型保護メガネの着用。

手・・塩化ビニール、ポリエレン等の保護手袋の着用。

呼吸器・・防塵マスクの着用。

皮膚及び身体・・材質は特定しないが、長袖、長ズボンの着用。

## 9、物理的及び化学的性質

物理的 : 形状・・・粉末

色・・・白色

臭い・・・僅かな特異臭(塩素臭)

化学的: 『N, N-ジエチル-p-フェニレンジアミン硫酸塩』のデータとして。

溶解度・・易溶(水)

融点・・・184℃~186℃

引火点・・不燃性

#### 10、安全性及び反応性

安全性: 通常の取扱いにおいては、安定している。

危険有害反応性 : 加熱すると分解し、有害な硫黄酸化物、酸化ナトリウム等

のガスを発生することがある。

硫酸ナトリウムはアルミニウム粉末と激しく反応して発熱し、 酸化アルミミニウム、硫酸アルミニウム、酸化ナトリウム等を

生成する。

避けるべき条件: 日光、高温での保管は避ける。

避けるべき物質: アルミニウム粉末との接触を避ける。

#### 11、有害性情報

製品に関する毒性データはないが、構成成分の個別データは下記の通りである。構成成分の個別データから急性(経口)毒性は比較的低いと思われ

る。また、眼に対する強刺激性・皮膚に対する弱刺激性があると思われる。

## 【第2燐酸ナトリウム(無水)のデータ】

急性(経口)毒性 : LD50 (ラット): 7400mg/kg

皮膚刺激性 : 弱い刺激性 (ウサギ) [★01] 眼刺激性 : 弱い刺激性 (ウサギ) [★01]

#### 【リン酸二水素カリウムのデータ】

急性(経口)毒性 : L D 50 (ラット): 7100 mg/kg 急性(経皮)毒性 : L D 50 (ウサギ): 7940 mg/kg

皮膚刺激性: 長期間の接触は刺激を起こす可能性がある。

眼刺激性: 刺激性あり。

# 【N, N-ジエチル-p-フェニレンジアミン硫酸塩のデータ】

急性(経口) 毒性 : LD50 (ラット): 450mg/kg [★02]

LD50 (マウス): 318mg/kg [★02]

#### 12、環境影響情報

水生環境急性毒性: データなし。生体蓄積性: データなし。残留性/分解性: データなし。

# 13、廃棄上の注意

大量の水で希釈して廃棄する。

#### 14、輸送上の注意

: 荷役中の取扱いは慎重・丁寧にし、手かぎ等による突き刺し、 落下、衝撃等により容器を破損し、内容物を飛散させてはな らない。

運送中は、直射日光や雨水等の浸透を防止するための被覆等 を行い、容器の転落、転倒しないように注意する。

#### 国際規制

国連分類 (クラス) : 分類基準に該当しない。 国連番号 (容器等級): 分類基準に該当しない。 海洋汚染物質 : 分類基準に該当しない。

#### 15、適用法令

労働安全衛生法 : 該当しない。 化学物質管理促進法: 該当しない。 毒物及び劇物取締法: 該当しない。

海洋汚染防止法: 該当しない。消 防 法: 該当しない。航 空 法: 該当しない。船舶安全法: 該当しない。

#### 15、その他の情報

引用文献 : 〔★1〕··RTECS (1972)

 $[\bigstar 2] \cdot \cdot RTECS$  (1986)

参考文献 : 「15710の化学品」化学工業日報社

## ☆ 中毒した時の緊急連絡先

財団法人 日本中毒情報センター

大阪) 中毒情報センター 中毒110番

電話 072-727-2499 (終日)

つくば) 中毒情報センター 中毒110番

電話 029-852-9999 (9時~21時)

記載内容は、現時点で弊社として入手できた資料・情報・データ・ 文献に基づいて作成致しておりますが、すべての情報・文献等を網羅 しているわけではありません。また、含有量・物理化学的性質・危険 性・有害性に関しては、いかなる保証をするものではありません。 化学製品には未知の危険有害性があり得るので、取扱いには、注意事 項を遵守し安全に注意し利用下さい。

この情報は、新たな文献や試験結果、法律の改正等の新しい知見により改訂致します。